

乳幼児健康診査

健診(予防接種)内容	日時	場所	対象者	個別通知
1 1カ月児健診	8月中	県内小児科	平成30年7月生	なし
3～4カ月児健診	8月中～9月中		平成30年5月生	
9～10カ月児健診			平成29年11月生	
1 1歳6カ月児健診	8月中	〈小児科〉 県立釜石病院 国立病院機構釜石病院 釜石しょうけいクリニック 〈歯科〉市内歯科医院	平成29年1月生	あり
3 3歳児健診			平成27年1月生	
6 6カ月児健診・BCG接種	8月29日(水) 受付13:00～13:15	市保健福祉センター 9階	平成30年2月生	あり
2 2歳児いい歯健診	8月2日(木) 受付 8:45～ 9:30		平成28年1月生	
4 4歳6カ月児発達検査	8月23日(木) 受付 9:00～ 9:30		平成26年1月生	

各種教室・集団予防接種

内容	日時	場所	対象者	申込期限
①パパママ準備教室 (※1)	8月11日(土・祝) ① 9:30～11:30 (受付9:20～ 9:30) ② 10:00～11:30 (受付9:50～10:00)	市保健福祉センター 9階	①妊娠6～7カ月の妊婦 および配偶者 ②おおむね4～12カ月児	8月8日(水)
②ベビーマッサージ (※2)				
もぐもぐごっくん教室 【初期】(※2)	8月8日(水) 10:15～11:30 (受付10:00～10:15)	青葉ビル研修室 1・2	おおむね5～6カ月児	8月6日(月)
かみかみごっくん教室 【中・後期】(※2)	8月22日(水) 10:15～11:30 (受付10:00～10:15)			
四種混合・不活化ポリオ (※3)	8月9日(木) (受付13:15～13:45)	市保健福祉センター 9階	接種を受ける当日の年齢が7歳 6カ月未満の子ども ※平成24年8月生以降は除く	当日受付

持ち物 ※1 母子健康手帳、母子健康手帳副読本 ※2 母子健康手帳、バスタオル ※3 母子健康手帳

市開設相談

内容	日時	場所	対象者	申込期限
栄養相談	8月23日(木) ①14:00～14:50 ②15:00～15:50 ③16:00～16:50	市保健福祉センター 8階	市内に住所がある20歳以上の人	8月20日(月)

母子健康手帳の交付日…8月3日、10日、17日、24日、31日(祝日を除く毎週金曜日、受付時間13:30～15:00)
問い合わせ…市健康推進課(市保健福祉センター2階) ☎22-0179

釜石保健所開設相談

内容	実施日	実施時間
精神保健相談(こころの相談)	8月28日(火)	13:30～16:00 ※予約制
エイズ相談・検査	8月2日(木)	13:30～14:30 ※予約制
性感染症検査(性器クラミジア病原体検査・梅毒検査)		
肝炎検査(B・C型)		
HTLV-1相談(ヒトT細胞白血病ウイルス-1型相談)		
骨髄バンク登録	14:30～15:00 ※予約制	

問い合わせ…釜石保健所保健課 ☎25-2710

ワンポイントアドバイス

B型とC型慢性肝炎・肝硬変の抗ウイルス治療について

国内最大級の感染症であるB型肝炎とC型肝炎は長年の経過で慢性肝炎から肝硬変に移行し、肝がんを発生したり、肝不全や食道静脈瘤破裂などで不幸な転機をとる疾患です。B型肝炎は約95%が自然治癒しますが、約5%が肝炎を発症し、慢性肝炎から肝硬変に進行します。また、C型肝炎では急性の経過で治療するものは約30%で、感染例の約70%が慢性肝炎から肝硬変に移行します。ウイルスを保持しているながら発症していない人でも、組織学的には肝炎を発症している場合があります。また、肝機能検査が正常範囲内であっても慢性肝炎や肝硬変の場合があります。

抗ウイルス治療にはインターフェロン治療やインターフェロンフリー治療、核酸アナログ製剤治療があります。B型肝炎には核酸アナログ製剤治療とインターフェロン治療が行われます。また、B型肝炎硬変には核酸アナログ製剤治療が行われます。核酸アナログ製剤を投与するとHBV-DNAは検出されなくなることがほとんどですが、EGFの抗原がなかなか陰性化されず、継続投与が必要となるのが課題です。C型肝炎治療は第一選択で、ウイルス学的著効率(SVR、血液検査の結果が陰性)になることは90%台と高い治療効果が得られています。インターフェロン治療と比較し副作用はほとんどなく、慢性肝炎や肝硬変の進行を防ぐことができ、肝がんの発生を低下させます。

B型肝炎やC型肝炎の患者さんは、どのような治療法が効果的なのか、肝炎かかりつけ医や消化器内科医にご相談ください。

釜石ファミリークリニック 田澤 秀樹



“結核”は過去の病気ではありません

保健案内板

【問い合わせ】市健康推進課 ☎22-0179

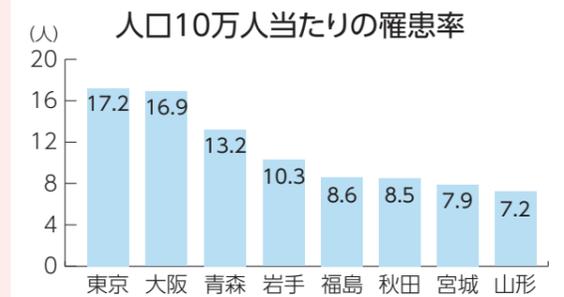
自分は「関係ない」「大丈夫」と思っていませんか?

結核は、結核菌によって発生する感染症の一つです。空気感染により広がっていく結核は、一般的に肺の内部で増えて、せき、たん、呼吸困難などの症状が出ます。また、肺以外にも腎臓、骨、脳など体のあらゆる部分に影響が出ることもあります。結核菌に感染した場合、必ずしもすぐ発症するわけではなく、体内に留まった後活動を開始し、発症することがあります。

※平成28年、全国で新たに結核の診断を受けた人は1万7,625人、結核による死亡者数は1,889人でした。新しく結核の診断を受けた人の中では、80歳以上が約40%と、高齢者の罹患率が高くなっています

国内の現状(平成28年現在)

- ① 全国の登録者は4万2,299人
- ② 日本は、先進国の中では結核が多い国
- ③ 結核は、高齢者に多い
- ④ 岩手県の結核罹患率は、47都道府県中11位(東北6県では2番目に多い)
- ⑤ 人口10万人当たりの岩手県の罹患率は10.3人、釜石地域では約20人。実は、釜石では身近な問題です



結核の感染を広げないために

せきエチケットを守る

- ① せき、くしゃみをするときは、ティッシュで口と鼻を覆いましょう
- ② 使用したティッシュはごみ箱に捨て、手をせっけんでよく洗いましょう
- ③ せき、くしゃみなどの症状がある人はマスクをしましょう



結核の症状を知る

- ・ せきが2週間以上続く
 - ・ たんが出る
 - ・ 発熱
 - ・ 体がだるい
 - ・ 急に体重が減る
- ※これらの症状がある場合は医療機関を受診しましょう



早めに対処する

市や職場などの胸部検診で症状が出る前(排菌していない状態)に発見できれば、他の人への感染を防ぐことができ、自身も軽症で済む場合があります。早期発見で結核のまん延を防止するために、検診を受けましょう

